



出発式

早朝にも関わらず、高総体出場選手のために、先生方や残留生徒のほとんどが出発式に来てくれました。

最後に、二年生の南君を中心とした激励応援がありました。

一時、出場選手の顔から緊張が解けましたが、応援してくれる先生方や生徒のためにも

「最後まであきらめない！」

全力で戦う」

という強い決意が感じられました。



開会式

「二度とない

この一瞬に夢こめて」

をスローガンに、平成二十三年第六十三回長崎県高等学校総合体育大会の総合開会式が六月三日(金)にかきどまり陸上競技場で開催されました。



堂々たる行進

県下どの高校に比べても、我が校は人数が少なく、行進に勢いを感じられないかもしれないと心配していましたが、選手一人ひとりが、緊張感あふれる行進を見せてくれました。



陸上部キャプテンの小田和徳君を先頭の旗手に、西田教頭先生、陸上部の選手八名による行進でした。

『バド部の先生から』

中学生や地域の方々の協力があったからこそその団体戦一勝だったと思います。私自身もうれしかったです。多くのプレッシャーの中で栄冠を勝ち取った選手たち自身が、一番うれしかったのではないのでしょうか。皆に感謝を与えてくれました。

応援してくださった皆さん
ありがとうございました。

剣道部

一ヶ月ほど前から、平日は小中学校の武道場で中学生との合同練習、休日は高校の武道場で顧問の先生とマンツーマン練習という工夫したメニューで練習を積んできました。



高総体前日は、小中学校の指導者の方に高校の武道場に来ていただいた際の練習でした。高校生最後の大会を明日に控え、鷺池君は、熱のこもった打ち込みをしていました。

女子バドミントン部

部員が三名の女子バドミントン部は、陸上部や野球部のマネージャー三名を臨時部員に迎え、六名で団体戦に出場しました。

一致団結し、最後までキャプテンの田中さんを中心にチームワークを大切にして、試合に臨んでいる姿が印象的でした。勝利を手にしたときの選手の手は、そして笑顔は、見ている私たちに大きな感動を与えてくれました。



★撃的な勝利を見せた団体★

一回戦

奈留高校 vs 聖和女子高校

第一 ダブルス (田中・橋口) 0-2

第二 ダブルス (夏井・江口) 2-0

第一 シングルス (永峰) 0-2

第二 シングルス (田中) 2-0

第三 シングルス (橋口) 2-0

報道部より

初めて、高総体の取材及び応援をさせていただきました。やはり、直接見るものには迫力があり、入場行進からは選手の意気込みが、試合からは熱意や気迫が感じられました。

高総体に引き続き、吹奏楽部の定期演奏会や軟式野球選手権大会があります。これまでに以上に頑張りたいと思います。

